

2025年2月14日（第4版）

消化器外科Ⅱに、過去に通院又は入院された患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 膵癌の長期生存に関わるゲノム解析

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 平野 聡・北海道大学病院 消化器外科Ⅱ 教授

[研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

旭川医科大学 内科学講座がんゲノム医学部門・教授 水上 裕輔・学長 西川 祐司
札幌東徳洲会病院 医学研究所・部門長 小野 裕介・病院長 太田 智之

[既存試料・情報の提供のみを行う機関・研究責任者名・機関の長の氏名]

C-CAT(国立がん研究センター・がんゲノム情報管理センター)・がんゲノム情報管理センター長 河野 隆志・国立がん研究センター理事長 中釜 斉

[研究の目的] 膵癌のゲノム情報を用いて、膵癌関連遺伝子の予後予測マーカーの妥当性を検討する。

[研究の方法]

膵癌の外科切除材料から抽出したDNAのうち、独自に選択した候補18種類の膵癌関連遺伝子の変異を解析、検討する。また、C-CAT(国立がん研究センター・がんゲノム情報管理センター)が提供する全国の膵癌患者の遺伝子情報も同様に解析検討する。

○対象となる患者さん

北海道大学病院 消化器外科Ⅱにおいて、2000年1月1日から2018年12月31日の間に研究目的で検体を保管した検体保管時に20歳以上の膵癌患者さん、または、2019年6月1日から2022年8月28日までの間にC-CAT(国立がん研究センター・がんゲノム情報管理センター)に登録された登録時に20歳以上の膵癌患者さん

○利用する検体・情報

検体(当院の患者さんのみ)：組織検体、血液検体

2025年2月14日（第4版）

情報：年齢、性別、診断名、既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理診断結果、遺伝子情報）、予後・再発情報

※ 当院の患者さんは1999年4月から2024年12月までの情報、全国の患者さんは2019年6月1日から2022年8月28日までの情報が利用されます。

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。C-CATに登録された情報は、解析のために北海道大学病院に、CD-ROMの郵送もしくは電子的配信で送付します。なお、北海道大学病院と、共同研究機関である旭川医科大学、札幌東徳洲会病院とは検体・情報のやりとりを行いません。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2023年7月頃)～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 消化器外科Ⅱ

担当医師： 岡崎 遼

住所： 北海道札幌市北区北14条西5丁目

電話： 011-706-7714 FAX： 011-706-7158

[当院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

医療機関名： 担当医師：

住所：

電話： FAX：